

はまなす通信

札幌南勤労者医療福祉協会だより

2018.7 夏号



勤医協在宅グループ 10 周年を記念して



2017年10月2日〜24日の日程で台風が直撃する悪天候の中、沖縄へ向けて出発し、宜野湾市にある嘉数（かかず）高台公園にある、日本軍が使用した陣地壕やトーチカ等の戦跡めぐりをはじめ、展望台からの普天間基地や嘉手納基地の見学と、普天間基地の移転先候補地である辺野古の海上視察を行

沖縄の歴史を学び 現状を知る視察

私たち勤医協在宅グループの本体である、株式会社北海道勤労者在宅医療福祉協会が誕生し、おかげさまで10周年を迎えることが出来ました。昨年迎えた10年の節目にあたり、ロゴや記念グッズ、10周年記念誌の作成と、民医連らしい記念運動をしようとして、プロジェクトチームを立ち上げ活動を行なって来ました。中でも、記念運動として、全日本民医連第41次沖縄辺野古支援連帯行動に、柏ヶ丘在宅総合センターより、事務職員1名を代表団团长として派遣する事となりました。

記念運動として 沖縄辺野古支援へ



作成したロゴ

日本の平和な未来のためにも、沖縄への援助が必要で、まずは声を上げ、何が出来るかを一緒に考える事から始めましょう。

一人一人の力が 平和な世の中をつくる

全国20地域50名の仲間達と、自然豊かな沖縄の地を訪れ、歴史にも触れながら、基地問題や平和問題について共に考え学び合う貴重な機会となりました。

学ぶ事ができました。合わせの生活をしているかを肌で感じ、



いました。さらに、名護市役所への表敬訪問し、参加者全員が想いを書いた色

紙を市長代理の方へお渡したり、パット建設ゲート前で座り込みを行う等、過密なスケジュールではありましたが、密度の濃い活動となりました。

オスプレイなどの米軍機が離発着し、米側も「世界一危険な米軍施設」と発言する程危険な普天間基地では、滑走路の北側に小学校のグラウンドがあり、米軍機が着陸する際には、爆音とともに、突っ込んでくるかのように小学校に接近する等、いかに沖縄に住む人々が危険と隣り合わせの生活をしているかを肌で感じ、

職員を募集しています！

いま、全国的に介護職、看護職、ケアマネジャー、リハビリ職の不足状態が続いています。皆さんのお知り合いの方をぜひご紹介ください。ご紹介は最寄の在宅総合センターか法人本部までお寄せください。

法人本部 電話 (011) 811-8002



減免制度の活用がすすんでいます！

独自の減免制度

私たち札幌南勤労者医療福祉協会が提供している介護サービスについて、社会福祉法人利用者負担減額を行っています。（札幌市では減額認定登録されると、減額確認証を交付しています。）

さらに、減額認定の対象にならない利用料についても、独自に減免制度を設けて実施しています。

いのちと暮らしを

守る砦の制度

近年、年金支給額が年々減額されたり、生活保護費の削減などで、最低限度の生活もままならなくなり、介護サービスの回数を減らしたり、利用できないというケースも出ています。

担当ケアマネジャーへ相談を頂いたAさんは、訪問看護の利用料について減免制度を利用。Bさんは住宅の家賃と訪問看護利用料を併せて減免制度を利用されています。

まずは、ご当法人の在宅総合センターへご相談下さい。

当法人による独自の減免制度のご案内

<減免対象のサービス>

- 訪問看護サービス（介護保険利用の自己負担分）
- 看護小規模多機能サービスの宿泊費
- 有償ボランティア利用料
- サービス付高齢者住宅及び、有料老人ホームの家賃・管理費

<対象となる方>

- ◎生計困難な方 ◎生活保護の方
(年間の収入が下記に該当する方)

- 単身者：135万円以下（A）
175.5万円以下※（B）
- 夫婦世帯：185万円以下（A）
（合算）240.5万円以下※（B）

※対象BはAの130%以下

その他規程があります。
担当ケアマネジャーや管理者へお問い合わせ下さい。



寄付金へのご協力をお願いします

当法人では、社会福祉法人減免制度の実施、福祉サービスの独自減免をはじめ、高齢者の居場所づくりなど地域支援事業に取り組みしています。皆様からの寄付金はこうした事業の支えとなり法人の経営基盤の強化にもつながります。寄付金は、最寄りのセンター、または法人本部で受け付けています。現金、又はゆうちょ銀行へ振り込み（専用の用紙有）もご利用いただけます。

是非ご協力をお願い致します。
（この寄付金はあくまで任意によるものです。）